

男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

(平成 27 年度第 1 回)

議 事 録

2015 年 6 月 30 日 (火) 開催

時 間	14:30～17:00	場 所	地盤工学会会議室		
田 中 委 員 長	○	亀村オブザーバー	○	山 口 (恵) 委 員	×
西 岡 委 員	×	岩 崎 委 員	×	熊 野 委 員	×
渡 邊 委 員	×	清 木 委 員	○	隅 倉 委 員	○
高 原 委 員	○	片 岡 委 員	×	山 口 (智) 委 員	○
和田オブザーバー	○				

○ : 出席 × : 欠席 △ : 未定

議事録担当者 : 隅倉

【前回議事録の確認】

【別紙 - 1】 pp.1～3

・承認された

【議 題】

【報告事項】

1. 会員・支部部の動き (和田オブザーバー)
 - ・本部一支部、支部一支部間の連携が薄れてきているので、強化を主なミッションとしたいと話している。
2. 土木学会ダイバーシティ推進委員会動向 (和田オブザーバー) 【別紙 - 2】 pp.4～22
 - ・土木学会ダイバーシティ&インクルージョン行動宣言が 5 月に公表され、6 月の報道機関懇談会にてプレスリリースされたことについて報告があった。
 - ・ポスターのおにぎりの意味について、同じおにぎりでも地域や家庭によってさまざまな形や具材がある、即ち、多様性がありダイバーシティを示す良い例であるからという旨の報告があった。
3. 男女共同参画学協会連絡会関連 (田中委員長) 【別紙 - 3】 pp.23～29
 - ・ソウルで開催される 2015 Gender Summit Asia-Pacific に参加する旨の報告があった。
 - ・国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業への応募について承認されたことが報告された。
 - ・10 月 17 日 (土) に第 13 回シンポジウムが開催されることが報告された。
 - ・地盤工学会では、正式加盟すると順番で回ってくる事務局業務を遂行するだけの人員と体制が整っていないため、オブザーバー加盟としている説明があった。
4. 若手座談会 (隅倉委員、渡邊委員) 【別紙 - 4】 pp.30～31
 - ・9/6 (水) に実施した若手座談会の報告書案の説明があった。内容について精査し、委員の承認が取れた段階で、学会誌の寄稿へ投稿する旨の説明があった。
 - ・若手座談会について以下の意見が上がった。
 - 若手会員 (35 歳以下) の増加と、シニア会員 (60 歳以上) の満足度を向上のミッションを理事会から課せられている。非会員のコメントを考察して若手獲得に繋げてほしい。
 - 若手委員の獲得に向けて、非会員への広報が必要である。
 - メンタープログラムがあれば若手の会員も増えるのでは? 指導員としてシニア会員の協力を得られないか?

5. ダイバーシティ小特集号（和田オブザーバー、渡邊委員） 【別紙 - 5】 p.32
- ・別刷は会誌を印刷している会社では請け負っていないとのことで、ダイバーシティ委員会に一任されている旨の報告があった。紙面版と表紙のファイルはいただけるそうなので、委員会でもどこかに外注する必要がある(前年度予算で 38,000 円の予算はたてていた。) 渡邊委員と相談し進めることとする。
 - ・web 版技術者紹介の継続については7月のアンケート結果の反響をみて今後の方針を決める。シニア講習会講師に応募するのは抵抗があるものの若手に伝えたいことはあるというシニア世代に執筆していただくのが良いのではないかという意見があった。
 - ・web 版技術者紹介を継続する場合、委員会の負担を考えると、二ヶ月に一人ぐらいのペースが良いのではないかという意見があった。

【審議事項】

1. ダイバーシティ特別セッション（田中委員長、和田オブザーバー、西岡委員） 【別紙 - 6】p.33
- ・主担当：西岡委員・片岡委員（要確認）
 - ・聴講者については、全員で協力して集客する
2. サロン・土・カフェ W（田中委員長、熊野委員） 【別紙 - 7】 p.34
- ・主担当：熊野直子・高原先生
 - ・主担当者が、参加可能なメンバーを確認し、係り（買出し班、会場設営班、集金班）決めなど準備を進める
 - ・アンケートの「フェロー会員」は「プレミアム会員」か要確認
3. 夏の学校ポスターブース（田中委員長） 【別紙 - 8】 pp.35～37
- ・主担当：岩崎委員・山口（智）委員
 - ・参加可能なメンバーをメールで確認
 - ・主担当者が出展内容を決め準備を進める
4. 話題提供 雪割草：女子学生就職懇談会アンケート（高原委員） 【別紙 - 9】 pp.38～56
- ・アンケート結果の報告が高原委員よりあり、男女で産休・育休への関心にまだ差がある旨の報告があった。
5. サポートメール配信（山口委員）
- ・特になし
6. 委員会 HP の更新（熊野委員） 【別紙 - 10】 p.57
- ・学会 HP(全体)はコンテンツが多すぎるので、もっとシンプルに
 - ・学会 HP や Facebook などの情報が、会員・非会員を問わず興味のある方に配信される仕組みにできないか、清木委員を通じて広報委員会へ問い合わせる。
 - ・YouTube やニコニコ動画など、無料コンテンツを利用して一般の方々と地盤工学会の節点を作ることができないかなどの意見が上がった。
7. 次回開催日の確認：
- ・第1候補は、9月1日の全国大会の夕方に開催（委員の予定を要確認）
 - ・予備日：2015年9月25日15:00～